

戦前の浅間高原の絵地図の中 北軽井沢駅と鬼押出しの中間あたりの 通称「六里ヶ原」に「天下の美観 檜の黄葉」という記述があります 私はこの記述がずっと気になっていました 浅間高原には落葉松 白樺と並んで 確かに檜(ナラ)の樹も多いのです 多くはコナラですが葉が特徴的なミズナラもあります 「天下の美観」というのですから どこか高い位置から俯瞰した景観なのでしょう それと思われる眺めの場所を ついに探し当てました まさに古地図の地点にあるホテルの屋上です 見渡す限りの「檜の黄葉」でした



これが完成した絵です



1、空から塗ります そのあと 境界を接していない地上(森)を一様に黄色で塗ってしまします



4、浅間の山肌も 数回塗り重ねて 立体感を出します 森の描写も少しずつ細部まで筆を加えます



2、浅間は青紫色で 森には少しジョンブリアン(肌色)を加えておきます



5、ところどころに緑の常緑樹(モミの木)を描いておきます これは実際の風景にもあるものです



3、檜の樹の葉を 一塊ずつ描いていきます やや濃い黄色(パーマネント・イエロー・オレンジ)を使いました



6、完成が近づいてきました あとは 手前の木々の幹や枝を 最後に浅間の白煙を加えれば完成です